



プロフィール

<small>さくひん</small> 作品の名前	いろえ きかがくもん 色絵 幾何学文 コンポート	<small>うらがわ</small> 裏側についているマーク
<small>ねんだい</small> 作られた年代	1920年～1931年(今から90～100年くらい前)	
<small>ばしょ</small> 作られた場所	日本	
<small>ばしょ</small> 売っていた場所	アメリカ	

いままで、11回にわたりしょうかいした作品と、ずいぶんふんいきがちがっています。

ここで
Question!
クエスチョン



q.1 何がかいてあるかな?

q.2 いがい 白以外に、つか たくさん使われている色が2つあるよ。何色かな?



さくひん
この作品にかくされたなぞは? うらをみてみよう▶

A.1 丸や三角など

このような図形を組み合わせた模様を「きかがく模様」といいます。

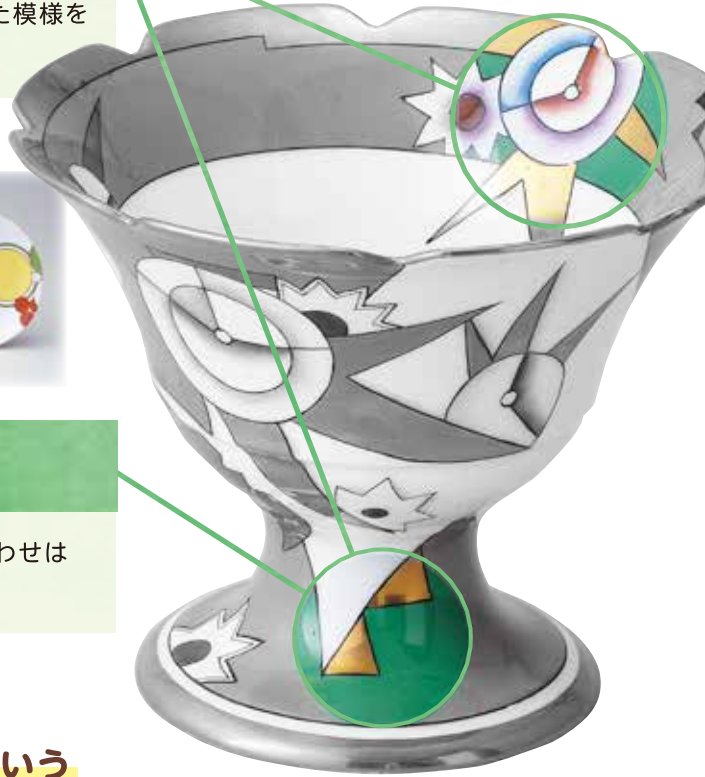
やがてみよう!

これも
きかがく模様



A.2 緑色と金色

あざやかな緑と金色の組み合わせはインパクト大ですね



これは、アール・デコという

装しゅくスタイルの特ちょうを表しています。

アール・デコは1920年代から1930年代（今から90～100年くらい前）にかけて世界中で流行した、絵や建物、デザインなどに使われたスタイルです。直線やシンプルな形を組み合わせたスタイリッシュなビルや日用品が誕生。明るい色使いのものも人気を得ました。また、それまでごうかなかざりとして使われていた金が「金色」という色として絵がらに取り入れられるようになりました。

「ちょっと耳よりエピソード」

アール・デコの時代

この時代、科学技術が進歩したことで、さまざまなものに人工的にカラフルな色をつけることができるようになりました。プラスチックやステンレスなどの新しい素材ができたのもこのころです。工場と同じものを大量生産するために、作りやすい形の製品も多く生まれました。

「ちょっと耳よりエピソード」は全部で24話あります。すべて集めてならべかえると、ひとつのお話になります。続きはwebでも読むことができます。